

# 企業景況調査報告書

(平成25年7～9月期)



8/31 鳥取看護大学実現に向けたシンポジウム

## < 目次 >

調査の概要・調査結果概要	..... 1
質問2 (直面している経営上の問題点)	..... 2
質問3 (その他 意見)	..... 3
集計結果	..... 4～6
調査票様式	..... 7

## 倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書(平成25年7～9月)

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社 (建設業 22 社、製造業 20 社、卸売業 10 社、小売業 22 社、サービス業 18 社、その他 8 社)
調査方法	各事業所を職員が直接訪問し、聞き取り又は依頼後調査票回収による。
調査時期	平成 25 年 9 月末～平成 25 年 10 月中旬
回収状況	79 社(回収率 79%) ※前回(4～6 月)82 社(回収率 82%)

## ＜今期の状況＞ ☆一部業種を除き収益状況の悪化が続く厳しい状況

前年同期比では、自社の業況判断で▲15.7 ポイント(前回値▲13.9 ポイント)となり、製造業▲42.9 ポイント(前回値▲17.7 ポイント)、卸売業▲50.0 ポイント(前回値▲40.0 ポイント)を中心に引き続きマイナスに傾倒する厳しい数値である。

売上高の項目では、回復基調にある建設業+5.5 ポイント(前回値0.0 ポイント)、サービス業+9.1 ポイント(前回値▲8.4 ポイント)が牽引し、総合で▲5.7 ポイント(前回値▲11.4 ポイント)とマイナス幅が縮小している。しかし製造業では、消費の冷え込みを実感する企業が依然として多く、▲26.7 ポイント(前回値▲11.1 ポイント)と大きくマイナスに振れている。収益状況についても▲60.0 ポイント(前回値▲29.4 ポイント)と大幅に悪化しており、総合でも▲27.2 ポイント(前回値▲21.8 ポイント)と引き続き厳しい数値である。また収益状況の悪化に伴い、資金繰りが悪化する業種もみられた。

雇用人員については、売上高が回復基調にある建設業で▲17.6 ポイント(前回値+15.0 ポイント)と不足に転じている。

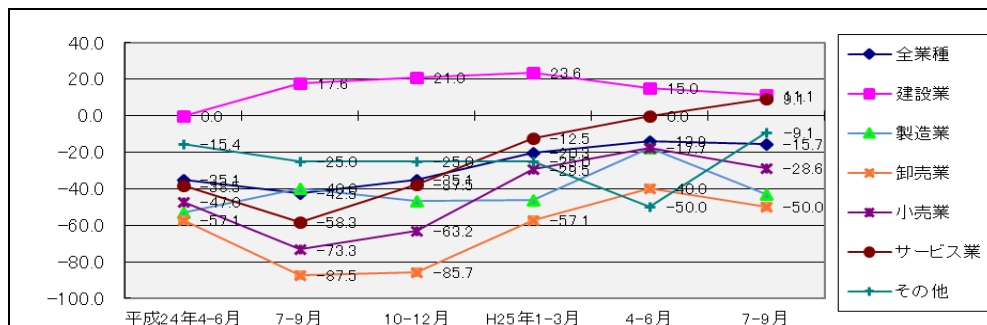
## ＜来期の見通し＞ ☆一部業種を除き業況の悪化が見込まれる厳しい見通し

来期(10～12 月)は、自社の業況判断で▲15.7 ポイント(前回値▲8.7 ポイント)と悪化幅が拡大する予想である。特に小売業、その他業種で大きくマイナスに傾倒しており、それぞれ▲28.6 ポイント(前回値▲11.7 ポイント)、▲36.4 ポイント(前回値▲16.7 ポイント)と厳しい数値を示している。

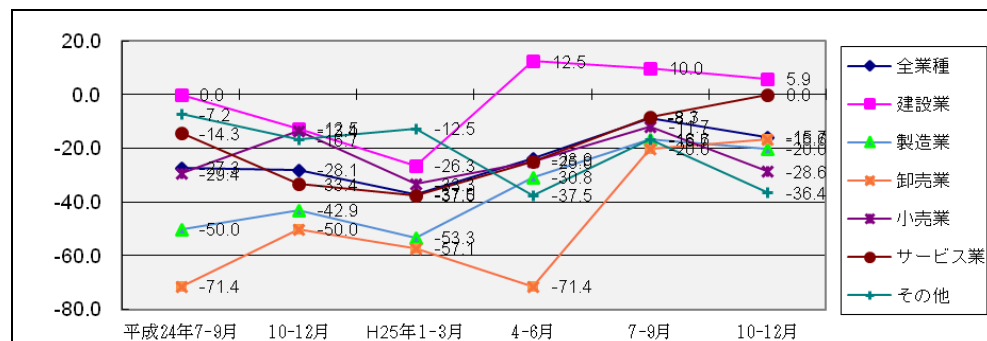
売上高については、総合で▲12.8 ポイント(前回値▲14.2 ポイント)と悪化幅が縮小するも、卸売業では大手資本の参入等が見込まれており、▲33.3 ポイント(前回値▲20.0 ポイント)と大幅に悪化する見通しとなった。

## ＜業況判断DIの推移＞

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し <業種別>



※DI値＝売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。

DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

◇業況・採算DI値:(好転)－(悪化)、◇売上DI値:(増加)－(減少)

## 質問2 直面している経営上の問題点(上位3点を回答)

前期の調査時点に比べ、「競争激化」と回答した企業がさらに増加する結果となった。また「売上・受注の減少」、「利益率低下」と回答した企業も依然として多くみられ、引き続き収益状況は悪化傾向にあることが窺える。

[上位項目]

※ ( ) 内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当期	競争激化(26)	消費・需要の停滞(24)	売上・受注減少(23) 経費の増加(23) 利益率低下(23)
	前期	売上・受注減少(26)	競争激化(23) 消費・需要の停滞(23)	
建設業	当期	原材料・仕入価格上昇(8)	競争激化(7) 人手不足(7) 利益率低下(7)	
	前期	利益率低下(9)	売上・受注減少(8)	原材料・仕入価格上昇(7)
製造業	当期	消費・需要の停滞(7)	売上・受注減少(6) 経費の増加(6)	
	前期	消費・需要の停滞(7)	競争激化(5) 売上・受注減少(5) 原材料・仕入価格上昇(5)	
卸売業	当期	競争激化(4) 売上・受注の減少(4)		消費・需要の停滞(3)
	前期	売上・受注減少(5)	競争激化(3)	消費・需要の停滞(2) 売上・受注単価低下(2)
小売業	当期	消費・需要の停滞(7)	競争激化(5) 経費の増加(5)	
	前期	消費・需要の停滞(7)	経費の増加(4) 新分野進出(4)	
サービス業	当期	競争激化(5)	利益率低下(4)	消費・需要の停滞(3)
	前期	経費の増加(5) 利益率低下(5)		消費・需要の停滞(4)
その他業種	当期	利益率低下(4)	売上・受注減少(3) 経費の増加(3)	
	前期	競争激化(3)	消費・需要の停滞(2) 売上・受注の減少(2)	

### 質問3 その他（要望・意見等自由記入）

#### 【建設業】

- ・消費税増税が発表され1年、2年先の経営が不安である。駆け込み受注も修理、改修が多く、大きな案件は少ないように思われる。
- ・消費税増税対策が課題である。
- ・工期内完成工事が何件か重なり、一時的に人手不足になっているが、継続的な雇用には繋がっていない。
- ・消費税増税、円安による影響が不透明である。またTPP非関税障壁の撤廃が懸念材料である。

#### 【製造業】

- ・消費税増税前後の動きが不安である。

#### 【卸売業】

- ・山林業者から合板会社への直送により取扱高が減少し、売上は大幅に減少している。構造的要因によるもので、新分野への進出も含め検討している。
- ・県外からのチェーン店が次々とでき、地元の業者はどうなるのだろうかと不安である。
- ・今年中に同業卸売業者が倉吉市に出店する見込みである。また消費税増税による当面の買い控えが懸念される。

#### 【小売業】

- ・客単価が低下している。また売掛金の回収が遅れ、資金繰りが悪化している。
- ・売上は伸びているが薄利である為、その対策を検討したい。
- ・経費をおさえる為、雇用を控えている。その為、新分野進出へ手が回らず、なかなか進まない状況である。

#### 【サービス業】

- ・3月中旬以降、いっぺんに仕事が受注できた。しかしその直前1年間は仕事が極端に少なく社員の採用を控えてきた為、人材不足になってしまった。採用しようとしても不人気な業種になってしまっている為、採用できる技術者が少なくて困っている。それと同時に昨年の不況が表面化してきたのか、借入れが困難になってきた。実際には状態はかなり回復してきているので奇妙な現象である。対策が必要だと思っている。
- ・来年4月の消費税率3%上昇分がどのように価格転嫁すればいいのか分からない。まして1年半後に10%に上昇した場合の対策については予想もつかない。
- ・依然として好景況感がなく先行きが不透明で、来年4月の消費税増税に伴う売上減少も懸念される。

#### 【その他】

- ・原材料(油類)の仕入価格上昇が最大の問題である。
- ・消費が低迷による売上減少、設備の老朽化が懸念材料である。

<集計結果>

質問1 DI 値集計(前年同期比=25年7~9月期、来期の見通し=25年10~12月期) ※DI=Diffusion Index

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-5.7	-12.8	-8.7	-13.1	-11.5	-10.0
製造業	-26.7	-20.0	-13.3	0.0	-33.3	-26.7
非製造業	0.0	-10.9	-7.4	-16.6	-5.4	-5.4

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-1.4	-4.3	-27.2	-15.2	0.0	-8.8
製造業	0.0	-6.7	-60.0	-23.1	6.6	0.0
非製造業	-1.8	-3.7	-18.2	-13.2	-1.8	-11.3

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
総合	-15.7	-15.7
製造業	-42.9	-20.0
非製造業	-8.9	-14.6

【業種別】

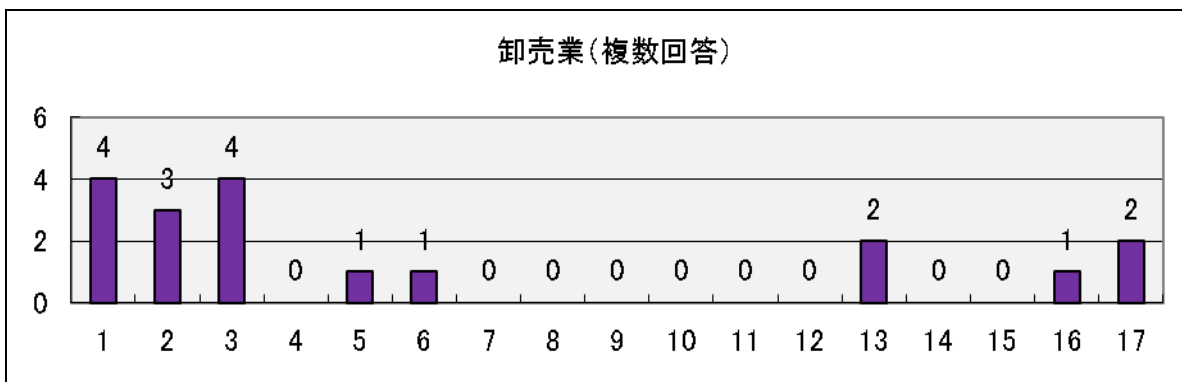
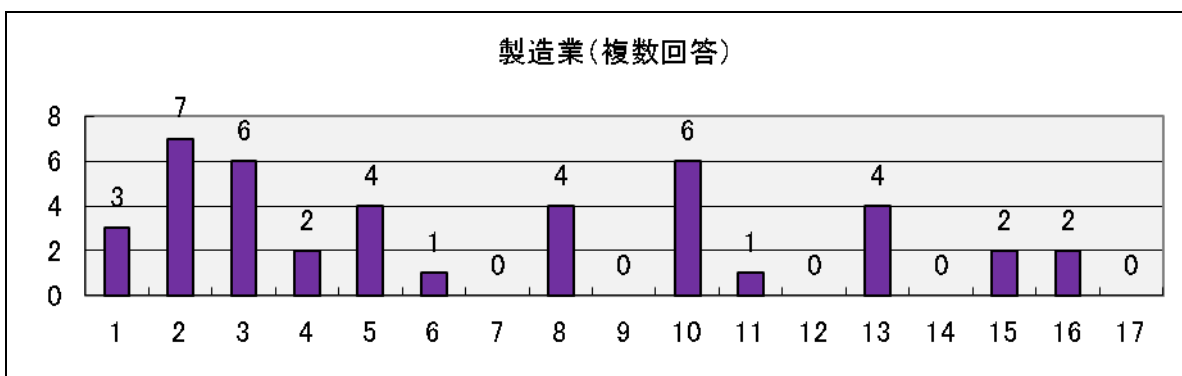
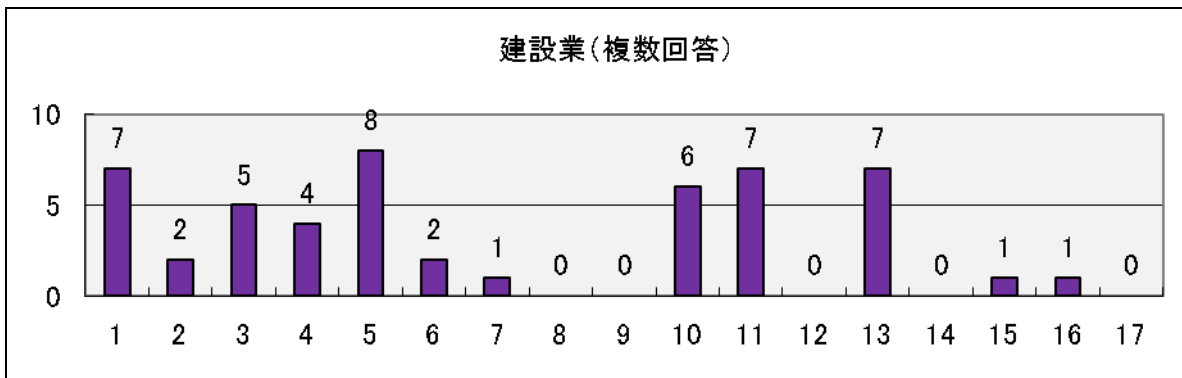
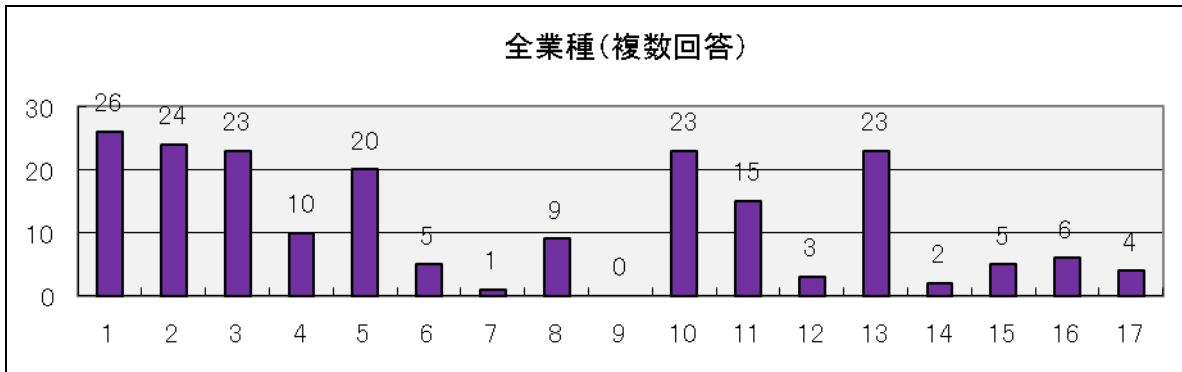
	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-5.7	-12.8	-8.7	-13.1	-11.5	-10.0
建設業	5.5	5.9	-11.1	-11.7	0.0	0.0
製造業	-26.7	-20.0	-13.3	0.0	-33.3	-26.7
卸売業	-16.7	-33.3	16.7	-16.7	-16.7	-16.7
小売業	-7.7	-21.4	7.7	-7.2	-23.1	0.0
サービス業	9.1	0.0	-18.2	-18.2	9.1	-9.1
その他	0.0	-28.6	-33.3	-50.0	0.0	-14.3
非製造業	0.0	-10.9	-7.4	-16.6	-5.4	-5.4

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-1.4	-4.3	-27.2	-15.2	0.0	-8.8
建設業	11.1	11.8	-5.8	0.0	-17.6	-37.5
製造業	0.0	-6.7	-60.0	-23.1	6.6	0.0
卸売業	20.0	20.0	-33.3	-33.3	16.7	20.0
小売業	-7.2	-14.3	-28.6	-14.3	14.3	14.3
サービス業	-27.3	-27.3	0.0	-27.3	-9.1	-18.2
その他	0.0	0.0	-42.9	0.0	0.0	-9.1
非製造業	-1.8	-3.7	-18.2	-13.2	-1.8	-11.3

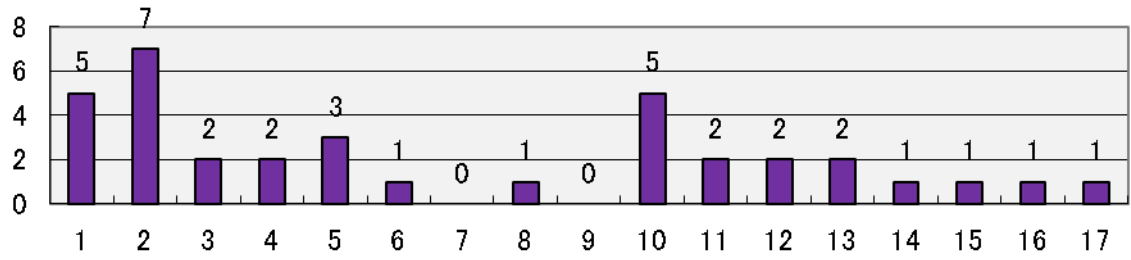
	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-15.7	-15.7
建設業	11.1	5.9
製造業	-42.9	-20.0
卸売業	-50.0	-16.6
小売業	-28.6	-28.6
サービス業	9.1	0.0
その他	-9.1	-36.4
非製造業	-8.9	-14.6

質問2 今期直面している経営上の問題点

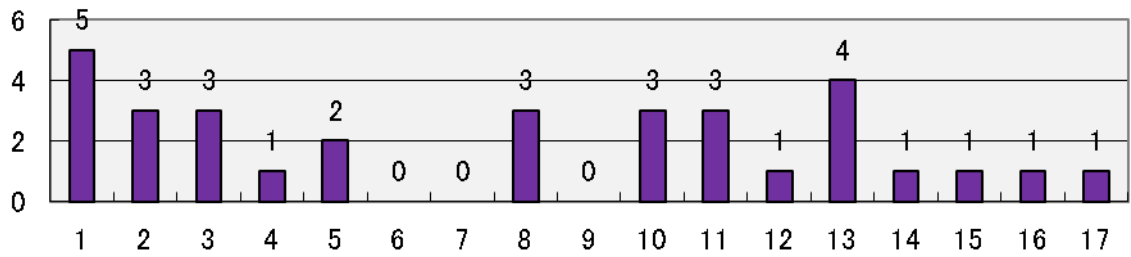
- |               |                  |             |
|---------------|------------------|-------------|
| 01 競争激化       | 07 原材料・在庫過剰      | 13 利益率低下    |
| 02 消費・需要の停滞   | 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 14 代金回収難    |
| 03 売上・受注減少    | 09 店舗・生産設備過剰     | 15 資金繰り難    |
| 04 売上・受注単価低下  | 10 経費の増加         | 16 新分野進出    |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 11 人手不足          | 17 その他:具体的に |
| 06 原材料・在庫不足   | 12 人手過剰          | ( )         |



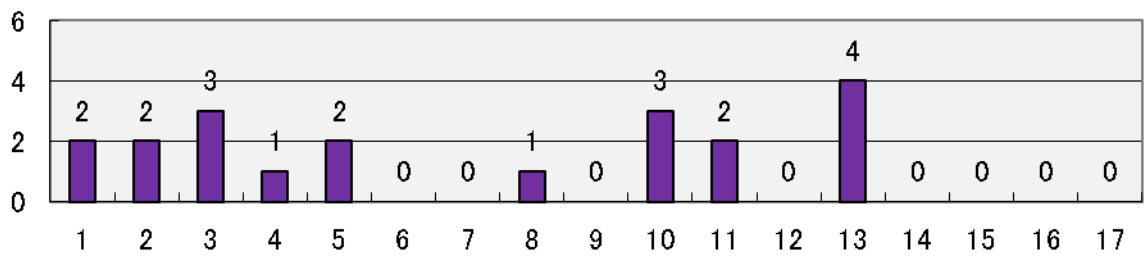
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



様

㊞

### 倉吉商工会議所企業景況調査票(平成 25 年 7～9 月期)

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191/FAX:22-2193

【質問 1】 前年同期と比較した今期(平成 25 年 7～9 月)の状況と来期(平成 25 年 10～12 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人		
	(前年同期比)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
	(来期の見通し)	1. 過剰	2. 不変	3. 不足
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問 2】 今期、直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

		回答欄
01 競争激化	10 経費の増加	
02 消費・需要の停滞	11 人手不足	
03 売上・受注減少	12 人手過剰	1位 _____
04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	
05 原材料・仕入価格上昇	14 代金回収難	
06 原材料・在庫不足	15 資金繰り難	2位 _____
07 原材料・在庫過剰	16 新分野進出	
08 店舗・生産設備不足・老朽化	17 その他：具体的に	
09 店舗・生産設備過剰	( )	3位 _____

【質問 3】 現在の景況感、企業経営上の問題点等についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。